リリースノート

SCIEX OS ソフトウェア 3.4.5

RUO-IDV-03-1821-JA-AH

2025 年 3 月

本書は SCIEX 機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部分を複製することは、SCIEX が書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アセンブル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのため SCIEX により供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEX の保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、また SCIEX の唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEX は、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および / または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および / またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です(sciex.com/trademarks をご覧ください)。

AB Sciex™ はライセンスの下で使用されています。

Echo、Echo MS、および Echo MS+ は、Labcyte, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスの下で使用されています。

Intabio はライセンスに基づいて使用されています。

© 2025 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.

目次

1 はじめに 4

2 バージョン 3.4.5 の新機能 5
改良点 5
修正 6

3 使用上の注意と既知の問題 9
使用上の注意 9
一般的な問題 11
インストールの問題 12
機器に関する問題 12
Agilent LC システムの問題 13
Echo® MS および Echo® MS+ システムの問題 14
ExionLC 2.0 システムの問題 14
ExionLC AC、ExionLC AD、ExionLC AE および Shimadzu LC システムの問題 15
M5 MicroLC および M5 MicroLC-TE システムの問題 17
Waters LC システムの問題 17
取得における問題 18
MS チューンワークスペースの問題 23
アナリティクスワークスペースの問題 23
エクスプローラワークスペースの問題 26
レポーターの問題 26
監査証跡の問題 27
ライブラリワークスペースの問題 27
Method Converter に関する問題 27
ライセンスサーバーの問題 28

お問い合わせ先 29
住所 29
お客様のトレーニング 29
オンライン学習センター 29
SCIEX サポート 29
サイバーセキュリティ 29
説明書 29

はじめに 1

ご利用のシステムの OS として、SCIEX をお選びいただきありがとうございます。以下のシステムをサポートする SCIEX OS ソフトウェア 3.4.5 をお届けします。

- ZenoTOF 7600 および 7600+ システム
- X500R QTOF および X500B QTOF システム
- SCIEX 4500、5500、5500+、6500、6500+、7500、および 7500+ システム
- Echo® MS システム ー 次を搭載：SCIEX Triple Quad 6500 +システムおよび Echo® MS モジュール
- Echo® MS+システム ー 次を搭載：SCIEX Triple Quad 6500+ システム
- Echo® MS+ システム ー 次を搭載：ZenoTOF 7600/7600+ システム
- ExionLC 2.0、ExionLC AE、M5 MicroLC システム、また、SCIEX から購入した場合は他の LC システムを選択

SCIEX OS ソフトウェア 3.4.5 を使用すると、トリプル四重極、QTRAP、および TripleTOF システムから取得したデータを処理することもできます（Analyst ソフトウェア 1.6.2 以降、または Analyst TF ソフトウェア 1.7.1 以降で動作）

このドキュメントでは、ソフトウェアの機能について説明します。ソフトウェアをご利用になる際の参照用として、このリリースノートを常にお手元に保管してください。

注: 括弧内の数値は、SCIEX 内部追跡システムにおける各問題/機能の参照番号です。

バージョン 3.4.5 の新機能 2

このセクションでは、SCIEX OS ソフトウェア 3.4.5 の変更点について説明します。以前のバージョンの SCIEX OS ソフトウェアの機能強化と修正を確認するには、そのバージョンのソフトウェアに付属する*リリースノート*を参照してください。

改良点

バッチ ワークスペース

- Intabio ZT システム：バッチワークスペースが、拡張キャリブレーション機能をサポートするために更新されました。この機能には、Intabio ソフトウェア 1.2 が必要です。

  注: Intabio ZT システムでは、バッチ自動化機能（決定ルールと自動レポート生成）はサポートされていません。

- 新しい自動レポート生成機能により、サンプル取得後の自動処理が完了すると、レポートが自動的に作成されます。**決定ルール** ボタンが **バッチ自動化** ボタンに置き換えられました。このボタンをクリックすると、ユーザーは決定ルールと自動レポート生成機能にアクセスできます。

  注:

  - 自動的に作成されたレポートのグラフのスケールが、アナリティクス ワークスペースで作成されたレポートのスケールと異なります。（ONYX-47254）
  - HTML 形式のレポートをネットワーク上の場所に保存できません。（ONYX-47550）
  - ユーザーがローカルプロジェクトフォルダーへの読み取りアクセス権を持っていない場合、自動レポート生成中にエラーが発生します。（ONYX-49234）

MS メソッド ワークスペース

- Intabio ZT システム：新しい実験タイプ、ZenoTOF MS が利用可能になりました。これは Zeno トラップを用いた TOF MS 実験で、インタクトプロテインの分析感度を向上させました。

  注:

  - ZenoTOF MS 実験は正極性でのみ利用可能です。
  - ガイド付き MRM HR は Intabio ZT システムでは利用できません。

エクスプローラ

- Echo® MS+ システム：アコースティックエジェクション（AE）データ用の新しいビジュアライザーは、AE データの分析を支援するヒートマップを提供します。

ライブラリ ワークスペース

- SCIEX OS ソフトウェアは、構造化データファイル（sdf）形式をサポートしています。
- ライブラリデータベースは、大規模なライブラリのサポートを強化するために更新されました。

注: 最適なパフォーマンスを得るには、ライブラリ検索に使用するコンピュータが、*ソフトウェアインストールガイド*に記載されている要件を満たしていることを確認してください。これらの要件を満たさない場合、パフォーマンスが不十分になる可能性があります。

デバイス

- ZenoTOF 7600+ システムへのサポートが追加されました。このシステムにより、ZT スキャン実験タイプにアクセスできます。
- Echo® MS+ システム：溶剤管理タスクは、デバイスの制御 ダイアログの Maintenance パネルで利用できます。ユーザーは溶剤をより詳細に選択できるようになっています。

注: SCIEX OS ソフトウェア 3.4.5 は、Echo® MS+ システムのファームウェアの更新を必要とします。ファームウェアを更新するには、サービス人員訪問が必要です。

- SCIEX 5500+ システムのファームウェアをアップデートすると、システムの感度が向上します。
- SCIEX OS ソフトウェアは、以下の Shimadzu バイオイナートのモジュールに対応しています：SIL-40C XSi、LC-40D XSi、FCV-0206H2i、FCV-0607H2i。

修正

このバージョンには、次の問題の修正が含まれています。

一般的な問題

- ネットワーク取得完了後もデータファイルが削除されない。（BLT-5913）
- ソフトウェアが一時（dmp）ファイルを作成してディスクがいっぱいになる。（BLT-5483/ ONYX-37252）
- コンピュータのディスク容量が不十分なため、バージョン 3.3 からアップグレードできない。（BLT-5595）
- サービスパッケージの作成中にソフトウェアが応答しなくなる。（BLT-5996）
- 旧バージョンのソフトウェアで RF 検出器を使用して取得したデータは、アナリティクス または エクスプローラ ワークスペースで開くことができない。（BLT-6223）
- Analyst ソフトウェアで極性切り替えによって取得したデータは、アナリティクス または エクスプローラ ワークスペースで開くことができない。（BLT-6276）

アナリティクス ワークスペース内の問題

- レポートで、クロマトグラムに保持時間の小数点以下 2 桁が表示される場合がある。（BLT-5997）

- 最後に数式をインポートするために使用したファイルフォルダーが利用できない場合、エラーが表示される。(BLT-6022)
- ライブラリ内のコンポーネント名と アナリティクス ワークスペース内のコンポーネント名が同じで、一致スコアが 100% 未満の場合、エラーが表示される。(BLT-6025)
- SCIEX OS ソフトウェアの言語が日本語で、レポートテンプレートに **For Each Statistic** タグが含まれている場合、エラーが表示される。(BLT-6045)
- ユーザーが保存済みの定量テーブルを上書きできてしまう。(BLT-6163)
- 条件付き検索行の入力値が空の場合、定量テーブルの条件付き検索列に不正な値が表示される。(MQ-11207)
- フィルターを列に適用すると、ユーザーがその列の数値形式を変更しようとした場合に問題が発生する。(MQ-11876/MQ-12697)
- SCIEX OS ソフトウェアをインストールする前にコンピュータの地域設定を変更し、ユーザーが小数点としてドット(.)を使用している場合、ピークレビュー ペインで積分パラメータを変更して保存すると、結果が正しく表示されない。(ONYX-33134/MQ-13170)
- ユーザーが大容量サンプルの処理をキャンセルした場合、テキスト出力の一時ファイルが削除されない。(ONYX-40785)

バッチ ワークスペース内の問題

- **自動インクリメント** のチェックボックスがオフの場合でも、バッチを (**クイックバッチ**) コマンドで作成すると、**バイアル位置** が段階的に増加する。(BLT-5658)
- バッチ内の一部の行で **データファイル**、**処理メソッド**、または **結果ファイル** の列が空欄で、他の行にファイル名が含まれている場合、バッチを送信した際にエラーメッセージが表示されない。(ONYX-40474)
- ユーザーインターフェースの言語を英語以外の言語に変更すると、バッチ ワークスペースグリッドの列幅が最小に縮小される。(SXOSLNT-900)

構成 ワークスペース内の問題

- **装置のアイドル時間** が高すぎる場合、ソフトウェアが開かない。(BLT-6183)

エクスプローラ ワークスペース内の問題

- `mol` ファイルを開くことができず、MS/MS 注釈に使用できない。(BLT-5895)

MS メソッド ワークスペース内の問題

- ユーザーがランプステップ中にイオン源パラメータを変更すると、SCIEX OS ソフトウェアが応答しなくなったり、エラーが表示されたりする。(ONYX-40434)
- X500 QTOF および ZenoTOF 7600 システム: 手動取得中に、ユーザーがイオン透過係数 (ITC) モードを変更できてしまう。(ONYX-40506)
- ユーザーが情報依存採取 (IDA) メソッドを作成し、手動取得を開始すると、ソースとガスのパラメータが変更可能になる。(ONYX-40993)

MS チューン ワークスペース内の問題

- ドイツ語のユーザーインターフェースで、CXP 最適化オプションが表示されない。(BLT-6336)

キュー ワークスペース内の問題

- 選択したサンプルをキューからクリアできない。(BLT-5970)

Echo® MS および Echo® MS+ システムの問題

- Echo® MS+ システム:デバイスの制御 ダイアログで直接注入中に、**ピークタイプ** を **幅** から **標準** に変更した場合、**反復率(Hz)** が更新されない。(OPP-934)
- Echo® MS+ システム:SCIEX Data API において、MRM 抽出イオンクロマトグラム(XIC)に指定された質量インデックスが範囲外の場合、表示されるメッセージが正しくない。(SXOSLNT-3140)
- Echo® MS および Echo® MS+ システム:結果ファイルが作成される際、吐出時間に関連する列が表示されない。(MQ-12741)

機器に関する問題

- Shimadzu オートサンプラー:999 µL を超える注入量を設定できない。(BLT-6209)
- M5 MicroLC および M5 MicroLC-TE システム:ソフトウェアが、LC メソッドの **First, establish a column pressure of ## psi** フィールドのセットポイントを検証しない。(MRC-451)

SCIEX OS to Analyst Software Method Converter 内の問題

- SCIEX OS ソフトウェアから Analyst ソフトウェアにメソッドを変換すると、SCIEX OS ソフトウェアのメソッドにおける最大ドゥエルタイムと衝突活性化解離(CAD)の値が、Analyst ソフトウェアのメソッドにおける値とは異なる。(ONYX-35963)

使用上の注意と既知の問題 3

注: 互換性情報については、*ソフトウェアインストールガイド*を参照してください。

使用上の注意

- 規制対象のお客様:ソフトウェアの検証後にユーザー管理設定をインポートする場合は、内部の変更管理プロセスに従って構成の変更を文書化することをお勧めします。
- MultiQuant ソフトウェアファイル(`qmethod`、`qsession` および `cset`)は、アナリティクス SCIEX OS ワークスペースで開けることも使用することもできません。ただし、MultiQuant ソフトウェアで作成され、テキスト ファイルにエクスポートされたメソッドは、アナリティクス ワークスペースにインポートできます。
- 非ターゲットワークフローの場合、定量テーブルは 150,000 行に制限する必要があります。定量テーブルがこのサイズを超えると、SCIEX OS ソフトウェアのパフォーマンスが著しく低下します。
- SCIEX OS ソフトウェアがデータファイルを取得する際に、Analyst ソフトウェア内でデータファイルを処理しないでください。これを行うとソフトウェアが不安定となり、データが失われる恐れがあります。(ONYX-8514)
- Watson LIMS へのデータ転送中、ユーザーは転送が正常に完了するまで待機する必要があります。転送が完了したら、ユーザーは SCIEX OS ソフトウェアで**確認**をクリックする必要があります。転送が完了する前に**確認**をクリックすると、転送のステータスが `Failed` と表示されます。

ネットワーク取得

- ネットワーク取得中に ClearCore2 サービスが中断されると、中断時に取得中のサンプルの一部のサンプルデータは、データファイルに書き込まれません。ローカル取得中にサービスが中断された場合、サンプルデータの一部がデータファイルに書き込まれますが、破損としてマークされます。ClearCore2 サービスが中断された場合、自動トリガー処理と決定ルール処理も失敗します。
- 次の方法により、ユーザーはネットワークリソースの測定中に エクスプローラ ワークスペースでデータをリアルタイムで表示できます(DS-1873):
  - SCIEX OS ウィンドウ下部のデータ取得パネルを開きます。
  - キューワークスペースで、取得中のサンプルをダブルクリックして開きます。

  注: エクスプローラ ワークスペースでサンプルを開いたままにしておくと、サンプルがネットワークリソースに移動された後、次のメッセージが表示されます:`File not found message.`

ExionLC 2.0 システム

- 溶媒レベルの監視が使用されている場合は、現在のボリュームが正しいこと、および適切な警告レベルとシャットダウン レベルが各バッチ取得の前にデバイスの制御またはデバイス詳細ダイアログで設定されていることを確認してください。移動相の補充のためにサンプル取得中に現

在の容量を更新する必要がある場合は、デバイス詳細ダイアログにあるポンプの溶媒レベルパネルを使用します。

- 複数の検出器を同時にデータ取得に使用することはできません。(BLT-1146)
- ExionLC 2.0 DAD (DAD または DAD-HS)、および MWD では、10Hz 以下のサンプリングレートのみがサポートされます。サンプリングレートが 10Hz 以上の LC メソッドは保存されません。
- DAD メソッドを作成する際には、3D データモードを選択していない場合でも、2D データチャンネルの波長および波長プログラムの波長が、3D データモードで定義された波長範囲内であることを確認してください。

ExionLC AC、ExionLC AD、Shimadzu システム

- カラム オーブンの待ち時間が 0 の場合は、オーブンの電源が入っているときにオーブンが READY であることを意味します。待ち時間を 0 に設定すると、カラムが設定温度に達する前に注入が開始されます。

Echo® MS および Echo® MS+ システム

- MS Method が作成されるとき、**スプレー電圧 (V)** デフォルトは 4500 V です。

  注: オープンポートフェイス (OPI) 電極アセンブリの寿命を最大化するために、5000 V 以下の値を使用することをお勧めします。

- ピークが狭いため、トランジションの数を最小化することをお勧めします。各 MRM メソッドでは、スキャン時間が 100 ミリ秒の場合、最大で 4 回のトランジションを行うことをお勧めします。
- 複数のバッチでデータや結果ファイルに同じ名前を使用しないでください。それぞれの新しいバッチに使用するデータと結果ファイルは、必ず新しいものにしてください。
- バッチ ワークスペースの **注入量** 列に入力された値は、AE メソッドで指定された排出量に置き換わりません。

Echo® MS+ システム

Echo® MS+ システムには、OPI ポート洗浄機能があります。この機能には以下の注意事項が適用されます。

- OPI ポート洗浄のデフォルト流量および持続時間の値は、ほとんどの使用例、洗浄溶剤、キャリヤ溶剤に適用できます。デフォルト値は最適化の開始点として適しています。
- OPI ポート洗浄が完了すると、キャリヤ溶媒ポンプは、最後の AE メソッドで指定された流量でキャリヤ溶媒を供給し続け、システムを測定用に準備します。質量分析装置がスタンバイ状態になると、ポンプは自動的に停止します。

  OPI 洗浄段階では、デバイスの制御 ダイアログから手動でポンプを停止することができます。OPI ポート洗浄を停止するには、**停止** をクリックします。キャリヤ溶媒の回収段階が完了するとポンプが停止します。

  OPI ポート洗浄が誤って停止した場合、たとえばシステムが故障状態になった場合、キャリヤ溶媒の回収ステップは手動で行う必要があります。以下の手順を実行します。

1. **Run Only OPI Carrier Solvent Recovery** オプションを選択します。
2. キャリヤ溶媒の回収が完了しない場合は、**Clear OPI Wash Fault/s** をクリックします。確認ダイアログで、**はい** をクリックします。

注: AEMS 測定を再開するには、OPI 洗浄の故障状態を手動でクリアします。OPI 洗浄が正しく継続して行われるように、故障の原因を特定し、修正します。

Intabio ZT システム

- 質量分析装置と Intabio ZT が同期していることを確認するには、構成 ワークスペースの デバイス ページで、質量分析装置の **接点閉** オプションを選択します。このオプションを選択していない場合、質量分析装置はサンプルの注入を待たずに、バッチ取得を続行します。
- 質量分析装置に故障やエラーが発生した場合、Intabio ZT システムは同期が取れなくなり、サンプルの注入を継続します。この問題が発生した場合は、バッチを停止します。
- キャリブレーションが失敗した場合でも、データ取得は継続されます。構成 ワークスペースの キュー ページで **キャリブレーションが失敗した場合、次のサンプルに進みます** オプションを設定しても、動作には影響しません。
- ユーザーが新しいイオン参照テーブルを作成した場合、**イオン参照表** 列でこれらのイオン参照テーブルを利用できるようにするには、バッチ ワークスペースを閉じてから再度開く必要があります。

SCIEX OS to Analyst Software Method Converter

- Analyst ソフトウェアで作成されたメソッドの固定充填時間パラメータの値が 1 以外であり、SCIEX OS ソフトウェアで使用するために変換される場合、固定充填時間パラメータは変換されます。ただし、SCIEX OS ソフトウェアでは、固定充填時間パラメータは無視されます。その結果、強度 (TIC またはスペクトル) は SCIEX OS ソフトウェアと Analyst ソフトウェアで異なります。
- Analyst ソフトウェアで作成された MS^3 メソッドの変換後、目的の化合物に合わせて AF2 パラメータを最適化することをお勧めします。

一般的な問題

問題	注意事項
SCIEX 7500 システム：長いファイルパス（129 文字以上）のデータは、Analyst ソフトウェア 1.7.2 または Analyst ソフトウェア 1.6.3 ソフトウェアと HotFix 5 を使用して処理することができない。さらに、このようなデータ ファイルのファイル情報は、Analyst ソフトウェア 1.7.2 または HotFix 5 を適用した Analyst ソフトウェア 1.6.3 では完全に表示できない。（AN-2250）	この問題を回避するには、アナリティクス SCIEX OSSCIEX OS ワークスペースを使用してデータを処理するか、ファイルパスを短くしてください。

問題	注意事項
SCIEX OS ソフトウェアが無人で動作しているときは、エラーダイアログが表示される。(ONYX-40401)	**はい** をクリックしてダイアログを閉じます。SCIEX OS ソフトウェアは開いたままになり、データは失われません。

インストールの問題

問題	注意事項
ExionLC 2.0 システムドライバーがソフトウェアのアップグレード中に削除される。(TPUB-2124)	アップグレードが完了したら、ExionLC 2.0 システムドライバーを再度インストールします。
装置が設定されている場合、SCIEX OS-Q と SCIEX OS-MQ が開かない。(ONYX-40063)	この問題は、SCIEX OS ソフトウェアが取得モジュールとともにインストールされ、装置が設定された後、SCIEX OS ソフトウェアが削除され、処理モジュールだけがインストールされた場合に発生します。 この問題を解決するには、次の手順に従います。 1. SCIEX OS-Q または SCIEX OS-MQ ソフトウェアを削除します。 2. SCIEX OS ソフトウェアをインストールし、設定されている装置を削除します。 3. SCIEX OS ソフトウェアを削除します。 4. SCIEX OS-Q または SCIEX OS-MQ ソフトウェアをインストールします。

機器に関する問題

問題	注意事項
スタンバイを選択すると、Harvard シリンジポンプが故障状態になる。(ACQ-2193)	この問題を回避し、エラーをクリアするには、Direct Control 機能を使用してシリンジを起動します。
シリンジポンプの (**直接デバイス制御**)ボタンが有効でないため、質量分析装置がスタンバイステータスの場合、ユーザーはシリンジポンプを始動できない。(BLT-2698)	データ取得またはチューニング手順を開始するには、 (**直接デバイス制御**)ボタンを有効にします。

問題	注意事項
LC システムのデバイス詳細ダイアログに情報がない。(ON-2069)	この問題は、Windows のリージョン設定が **English (United States)**以外の形式に設定されている場合に発生します。このエラーを回避するには、ドキュメント *Software Installation Guide* の指示に従って Windows を構成します。
リモートデスクトップアプリケーションを使用して取得コンピュータにアクセスすると、次の問題が発生する可能性があります。 • LC メソッドワークスペースでは、一部のパラメータが表示されない。 • LC システムの詳細ステータスダイアログで、一部の LC パラメータが表示されない。 (ONYX-7153/ONYX-8185)	この問題は、ユーザーが取得コンピュータからログオフせずにリモートデスクトップセッションを切断して再接続した場合に発生します。リモートデスクトップを実行しているコンピュータが、Windows の表示設定で **Make everything bigger** が 100%以上に設定されている場合に発生します。この問題を解決するには、**Make everything bigger** を 100% に設定します。
取得コンピュータがシャットダウンされても、装置はシャットダウンされない。(ONYX-7677)	取得コンピュータをシャットダウンする前に、装置をシャットダウンします。
接点閉鎖を使用している場合、MS 法とバルブ法が同時に終了すると、ダイバーターバルブは運転終了時にタイムテーブルで定義された位置に変更されない。(ONYX-7952)	メソッドのタイムテーブルの最後にバルブ位置を設定しないでください。
SCIEX OS ソフトウェアは、チューニング中に外部シリンジポンプを自動的に開始および停止しない。(ONYX-8459)	チューニング手順を開始する前に、シリンジポンプを手動で停止および開始します。

Agilent LC システムの問題

問題	注意事項
オートサンプラーではハイスループット設定がサポートされていない。(ACQ-529)	ハイスループット設定は現在サポートされていません。
ポンプ圧力が LC 法で設定された最大値を超えても、ポンプの状態が故障に変わらない。(ACQ-1712)	圧力が設定された最大値に達するまでフローは停止し、再び最大値に達するまで再開されます。ポンプの状態は変化しません。 LC メソッドの流量を調整します。
LC グラジエントグリッドの流量をコピーすると、小数点記号としてのコンマが無視される。(ACQ-2191)	これは Agilent LC の問題です。この問題を回避するには、手動で流量を入力し、コンマを小数点記号として使用してください。

Echo® MS および Echo® MS+ システムの問題

問題	注意事項
連続するバッチが同じデータファイルにデータを保存すると、ピークスプリットが失敗し、自動処理が失敗する。(ONYX-6904)	ピークスプリットは、データが取得された後に実行されます。前の取得中にファイルに書き込まれたピークをシステムが分割している間に、後続のバッチがデータをファイルに取得している場合、リソースの競合が発生します。この問題を回避するには、各バッチのデータを個別のデータファイルに書き込みます。
以下の制限が適用されます。 • Echo® MS または Echo® MS+ システムの使用時に決定ルールが正しく機能しない。 • Echo® MS または Echo® MS+ システムを使用する構成では LC システムを使用できない。 • MS チューン ワークスペースは、SCIEX 6500+ システムで使用する Echo® MS または Echo® MS+ システムには使用できない。 (ONYX-10636)	• Echo® MS または Echo® MS+ システムが SCIEX OS で設定されている場合は、決定ルールを使用しないでください。 • Echo® MS または Echo® MS+ システムがアクティブな時は、LC システムをアクティブにしないでください。 • MS チューン Echo MSEcho® MS ワークスペースでチューニングを行わないでください。 IonDrive Turbo V イオン源と関連プローブを使用して、SCIEX 6500+ システムをチューニングします。
予測開始時間ワークスペース内のキューは、AE サンプルについては更新されない。(OPP-421)	ユーザーインターフェースのみの問題です。システムの機能は影響を受けません
プレートレイアウト ダイアログでエントリを削除しても、行は バッチ ワークスペースから削除されず、一部のフィールドが残る。(OPP-826)	行を削除するには、行を選択して右クリックし、**行の削除** をクリックします。

ExionLC 2.0 システムの問題

問題	注意事項
ポンプ:断続的にポンプがオフラインになる。(ONYX-35050)	ポンプをオフにしてから再度オンにします。
ダイオードアレイ検知器(DAD):断続的に検出器がオフラインになる。 (ONYX-35053)	該当なし
ExionLC 2.0 時折、システムの稼働中にデバイスのアクティブ化が完了せず、ソフトウェアにオフラインと表示されることがある。(ONYX-35054)	ポンプをオフにしてから再度オンにします。

問題	注意事項
時折、構成 ワークスペースの デバイス ページで ExionLC 2.0 システムが構成されている場合、デバイスのアクティブ化が完了しないことがある。(ONYX-37665)	デバイスのアクティブ化を再試行してください。
ExionLC 2.0 オートサンプラー: **サンプルが欠落している場合は、次のサンプルに進みます** チェックボックスがオンの状態でバイアルが欠損している場合、オートサンプラーは欠損しているバイアルの次のバイアルを使用しない。(ONYX-38092)	該当なし

ExionLC AC、ExionLC AD、ExionLC AE および Shimadzu LC システムの問題

問題	注意事項
PDA 検出器を備えたハードウェアプロファイルが有効化されると、LC メソッドの検出器のデフォルトは、新しく作成された LC メソッドと、同じ LC で以前に作成されたが PDA 検出器が有効化されていないオープン LC メソッドとで異なる。(ACQ-2176)	問題の発生を回避するには、PDA 機器に正しいパラメータが使用されていることを確認してください。
すすぎサイクルの開始時または終了時にすすぎ溶媒が**なし**に設定されている場合、すすぎが行われない。(BLT-1212)	すすぎサイクルの最初と最後の溶媒の値が**なし**以外であることを確認します。
スタンバイ状態になった後、またはシステムが停止した後、最後の平衡化手順または LC メソッドで設定された温度に戻る。(BLT-2300)	該当なし
Shimadzu LC-40 システム: 自動的に入力される LC メソッドのフィールドの内容が、レポートに出力されない。(BLT-2850)	自動的に入力された内容を、値を入力して置き換えます。
Nexera Mikros システム: LC ポンプは、最大圧力限界に達しても故障状態にはならない。(ONYX-7794)	該当なし
Nexera Mikros システム: LC ポンプは、デバイス構成で LC-20AB ポンプとして誤って識別される。(ONYX-8030)	LC システムのパフォーマンスは影響を受けませんが、ポンプはデータファイル、ログ、および監査証跡で誤って識別されます。

問題	注意事項
Shimadzu LC-40 システム：プレートレイアウトダイアログで、ユーザーが複数のプレートでラックタイプを構成している場合、プレートの構成を終了して次のプレートを選択すると、構成されたプレートの名前が **<未割り当て>**に変わる。（ONYX-8441）	バッチを保存して再度開き、プレートレイアウトダイアログにプレート名を正しく表示します。
Nexera Mikros システム：ユーザーが LC ポンプの流量を有効な範囲外の値に設定すると、ドライバーは流量を最小値または最大値のいずれか近い方に設定する。SCIEX OS ソフトウェアには通知が表示されない。（ONYX-18416）	該当なし
Nexera Mikros システム：SCIEX OS ソフトウェアが LC ポンプの実際の流量を表示しない。（ONYX-18418）	ポンプの前面パネルで流量を確認します。
Shimadzu システム：ユーザーが指定した注入量が無効な場合、サンプルは失敗するが、SCIEX OS ソフトウェアはエラーメッセージを表示しない。（ONYX-19857）	サンプルが失敗した場合は、注入量が有効であることを確認してください。
Shimadzu systems：オートサンプラーはサンプルを注入せず、オートサンプラーのステータスが `Waiting for Oven` から `Running` に変わる。（ONYX-31947）	この問題を防ぐには： • バッチ内の Column oven 温度を変更しないでください。 • 異なるバッチに異なるカラム温度を必要とする LC メソッドが含まれている場合は、バッチ間で単一サンプル バッチを使用してカラム温度を変更します。
Shimadzu システム：SIL-40 オートサンプラーを ACMP オートサンプラーに交換した後、LC メソッドを開くとエラーメッセージが表示される。（ONYX-32320）	新しい構成に対して新しい LC メソッドを作成します。
Shimadzu LC-40 および ExionLC AE システム：障害以外のメッセージにタイムアウトがない。（ONYX-32741）	障害以外のメッセージが発生した場合は、ユーザーの操作が必要です。たとえば、`AS:No Rack` というメッセージが表示された場合、ユーザーはオートサンプラー ドロワーを閉じるか、メソッドを中止する必要があります。
Shimadzu Nexera XS イナートシステム：ユーザーがシステムコントローラのシリアル番号を変更し、その後システムを起動しても、システムがエラー状態にならない。（ONYX-47488）	該当なし

問題	注意事項
Shimadzu Nexera XS イナートシステム: ネットワークケーブルが切断された後もシステムは動作を継続する。（ONYX-47489）	電源ケーブルを接続し、システムをオフにしてからオンにします。

M5 MicroLC および M5 MicroLC-TE システムの問題

問題	注意事項
カラムオーブンがデバイスワークスペースで設定されていても、勾配ポンプに物理的に接続されていない場合、取得は平衡状態または負荷状態のままになる。(MRC-397)	カラムオーブンが勾配ポンプに物理的に接続されていることを確認します。
トレイ構成に加えられた変更が、デバイスがアクティブ化された後、バッチワークスペースに表示される。(MRC-435)	トレイ構成を変更したら、構成ワークスペースで装置を非アクティブにしてからアクティブにします。
ダイレクトコントロールで指定した値が保持されない。(MRC-429)	該当なし
システムへの接続が失われると、オートサンプラーは準備状態のままになる。(MRC-444)	該当なし
新しいトラップ溶出 LC メソッドを作成すると、メソッドが保存されるまで、**LC Pump for Analytical Separation** フィールドは空のままになる。(MRC-450)	該当なし
LC メソッドの勾配グラフで、グラフや凡例が正しく表示されないことがある。(MRC-452)	LC メソッドを閉じてから再度開きます。

Waters LC システムの問題

問題	注意事項
SCIEX OS ソフトウェアの Waters Acquity システムを使用してデータを取得した場合、そのデータを Analyst ソフトウェアで処理することができない。（BLT-5087）	Analyst ソフトウェアは、データ ファイルに保存されている**ラックコード** の文字数をサポートしていません。SCIEX OS ソフトウェアを使用して、Waters Acquity システムで取得したデータを処理します。
エクスプローラワークスペースに表示されるサンプル情報ペインに LC デバイスのプロパティとメソッドの情報がない。（ONYX-11604）	該当なし

問題	注意事項
LC メソッドのパラメータは、Waters Support Layer 1.1 が使用されている場合は保存されない。(ONYX-20524)	Waters Support Layer 1.2 にアップグレードします。
他の LC メソッドが開いている場合は、LC メソッドを作成できない。(ONYX-21110)	別の LC メソッドが開いているときに LC メソッドが作成された場合、新しい LC メソッドのウィンドウは空です。 他のすべての LC メソッドを閉じます。新しい LC メソッドのウィンドウが更新され、メソッドパラメータが表示されます。

取得における問題

問題	注意事項
X500 QTOF および ZenoTOF 7600 システム:MRM^{HR} アルゴリズムメソッドの場合、質量表 の列が印刷されない。(ACQ-2611)	以下を実行すると、UI に表示された列の一部がメソッドのプリントアウトに表示されません。 1. MRM^{HR} アルゴリズムメソッドを作成します。 2. スキャンスケジュールを追加します。 3. 拡張パラメータを選択して表示します。 4. メソッドを保存してから印刷します。 この問題を回避するには、Letter サイズより大きい用紙サイズを選択します。
取得メソッドおよび処理メソッドからのインポート中に一貫性のない動作が発生し、そのために信頼性の低い評価結果が生成される。(BLT-284)	取得メソッドからインポートされる情報は、小数第 2 位までの質量精度で示されます。処理メソッドの質量精度の計算に使用される式では、小数第 4 位までの結果が生成されます。そのため、この 2 つのメソッドからは一貫性のない結果が提示されることがあります。
DAD パネルのリアルタイム更新が、メソッドで選択された応答時間よりも遅いことがある。(DS-853)	この問題を回避するには、DAD 取得の頻度を下げるか、取得の完了後にデータを点検します。
ZenoTOF 7600 システム:EAD フラグメンテーションモードでは、データが取得されない。(MSCS-2527)	EAD フラグメンテーションを使用する場合は、蓄積時間が反応時間以上である必要があります。使用しない場合は、データが取得できません。この問題を解決するには、蓄積時間を増やします。
X500 QTOF および ZenoTOF 7600 システム:質量欠損 IDA 基準で、負質量欠損値が正しくない記号で表示される。(MSCS-2537)	アルゴリズムは正しいプリカーサーを選択するため、取得されたデータは正しいです。

問題	注意事項
バッチを `pdf` に印刷すると、列見出しまたは本文セルのいずれかの数値がドキュメントから欠落している。(ONYX-2236)	XPS 形式で印刷します。
MS メソッドでは複数のピリオドはサポートされていない。(ONYX-4185)	該当なし
バッチワークスペースの既存の行に行を貼り付けると、コンテンツが正しく貼り付けられない。(ONYX-6083)	この問題を回避するには、既存の行の上に貼り付けるのではなく、空の行を挿入してその中に新しい内容を貼り付けます。次に、既存の行を削除します。
`Acquisition Methods` フォルダーに破損した MS Method が含まれている場合、**MS メソッド**ワークスペースのバッチ列で選択できる処理メソッドがない。(ONYX-6795)	MS Method のリストが空の場合は、破損したメソッドを見つけて削除します。
キューワークスペースでは、決定ルール処理の結果として再注入されたサンプルは、元のサンプルに関連付けられた処理メソッドの名前ではなく、*列に* ****埋め込みメソッド**** **処理メソッド**と表示される。(ONYX-6896)	最初のサンプルが処理されると、結果ファイルが作成され、**処理メソッド**列で指定された処理メソッドが新しい結果ファイルに埋め込まれます。したがって、再注入されたサンプルに指定された埋め込み方法は、最初のサンプルに指定された処理メソッドと同じです。
IDA データの取得中に取得コンピュータが Windows リモートデスクトップで制御されている場合、取得パフォーマンスが低下し、データポイントが失われる可能性がある。(ONYX-7491)	IDA データの取得中は、リモートデスクトップを使用して取得コンピュータを制御しないでください。
現在開いている `pdf` ファイルにメソッドを印刷しようとすると、エラーが発生する。(ONYX-7813/ONYX-8204)	メソッドを印刷する前に `pdf` ファイルを閉じるか、別のファイル名で保存してください。
SCIEXQTRAP ライセンスがアクティブ化された 7500 システム:AF2 のデフォルト値が、負極性の MS^3 実験では設定できない。(ONYX-8041)	負極性で MS^3 実験の AF2 にデフォルト値を設定した場合、デフォルト値は保存されません。 AF2 のデフォルト値を負極性で保存するには、最初に、負極性に必要な AF2 値で正極性を構成します。その後、負極性に変更し、デフォルト値を保存します。

問題	注意事項
Scheduled MRM (sMRM)アルゴリズムを使用する MS メソッドは、無効なメソッド時間で保存できる。(ONXY-8443)	スキャン時間が長すぎると、**期間** sMRM が無効になる場合があります。メソッドを保存しようとすると、エラーメッセージが表示され、**期間**フィールドにエラーアイコンが含まれます。有効なメソッドの期間を指定し、期間を不正なメソッド時間に戻してからメソッドを保存すると、メソッドは正常に保存されます。 メソッドを保存する前に、正しいメソッド時間を決定してください。
ZenoTOF 7600 システム:SCIEX OS と PeakView ソフトウェアでは、サイクル時間の報告が異なる。(ONYX-10623)	該当なし
ZenoTOF 7600 システム:`wiff` ファイル内のサンプルの TOF 質量キャリブレーションパラメータが `wiff2` ファイル内のパラメータと一致しない。(ONYX-11356)	キャリブレーションパラメータは、Analyst TF ソフトウェアと SCIEX OS ソフトウェアによって異なる方法で記録されます。`wiff` ファイルは、Analyst TF ソフトウェアモデルに従います。
X500 QTOF システムと ZenoTOF 7600 システム:整数以外の値を **直前の候補イオンを除外** の **の場合** フィールドに入力できてしまう。(ONYX-11383)	メソッドを保存して再度開くと、整数以外の値は「0」に置き換えられますが、整数以外の値を考慮した上で正しくデータを取得しています。
ガイド付き MRM > **MRM Infusion** では、ユーザーが**開始**をクリックすると、初期条件の設定ページのソースパラメータとガスパラメータがデフォルト値に戻る。(ONYX-15218)	パラメータを再設定します。
ユーザーが手動で追加したコンポーネントを含むバッチを開くかインポートすると、標準または QC ではないサンプルの手動で追加されたコンポーネントが失われる可能性がある。(ONYX-16466、ONYX-16467、ONYX-16474)	手動でコンポーネントを追加したバッチを開いたり、インポートしたりした後は、すべてのコンポーネントが存在していることを慎重に確認してください。
高質量モードのメソッドを低質量モードに変換すると、メソッドのサイクル時間が長くなる。(ONYX-18158)	ドゥエルタイムを短縮して補正します。
質量表が並べ替えられている場合、質量表でトランジションが選択されても、sMRM プロットダイアログは動的に更新されない。(ONYX-19154)	sMRM プロットダイアログの動的更新を有効にするには、並べ替えをオフにします。

問題	注意事項
SCIEX OS ソフトウェア 1.6.10 で作成された sMRM アルゴリズム メソッドが、SCIEX OS ソフトウェア 3.4.5 では開けない。(ONYX-20552)	1. Turbo V イオン源など、MS メソッドで使用されるイオン源とは異なるイオン源を使用してデバイスを構成します。 2. MS メソッド開き、再度保存します。 3. 元のイオン源でデバイスを構成します。 4. MS メソッドワークスペースを開きます。
同じ**グループ ID** に属するコンポーネントのインポートされた保持時間が sMRM または Scout triggered MRM (stMRM)アルゴリズムの実験で異なる場合、検証エラーが表示されます。ユーザーが保存期間を手動で更新して同じにすると、検証エラーが続く。(ONYX-20987)	インポートされた保持時間は、質量表 に手動で入力された保持時間とは小数精度が異なります。保存期間を入力する代わりに、保存期間をコピーして貼り付けるか、下方向にコピー機能を使用します。
ロードアヘッド機能を使用してバッチが送信された場合、キュー構成で選択された欠落サンプルのステータスに関係なく、欠落しているバイアルが検出されるとキューが停止する。(ONYX-21006)	ロードアヘッドの処理中、サンプルイベントが欠落している間、キューは常に停止します。**開始**をクリックしてキューを開始します。
MS メソッドが実行中に保存された場合、メソッドの実行が終了または停止された後、MS メソッドワークスペースのボタンは応答しない。(ONYX-21052)	I メソッドを閉じてから再度開きます。
QTRAP 6500+、6500、5500、5500+、および 4500 システム：SCIEX OS ソフトウェアによって取得された、IDA データを含む `wiff` ファイルを Analyst ソフトウェアのエクスプローラーワークスペースで開くと、エラーメッセージが表示される。(ONYX-21511)	該当なし
SCIEX OS ソフトウェアによって保存された wiff ファイルには、wiff 2 ファイルに含まれる質量解析情報が含まれていない。(ONYX-22804)	該当なし
複数の Scheduled MRM (sMRM)または Scout triggered MRM (stMRM)アルゴリズム実験を含む MS メソッドの最初の実験を削除した後、質量表に変更が加えられても sMRM プロットダイアログは更新されない。(ONYX-23756)	更新が必要になるたびに、sMRM プロットダイアログを閉じてから開きます。

問題	注意事項
シミュレーションモードでは、データ取得 パネルの X 軸の時間が正しくない。（ONYX-31290）	該当なし
キューで **サンプルを再測定** コマンドでサンプルを再度取得した場合、自動トリガー処理は完了しない。（ONYX-33142）	該当なし
広いピークモード、3000 ミリ秒間隔、増加した総サイクルタイムを使用する AE メソッドでは、バッチ取得とピーク分離が完了しない。（ONYX-34509）	該当なし
トリプル四重極および QTRAP システム：ユーザーがデフォルト設定の **CE 拡散（V）** または **設定時間（ms）** の値を変更し、新しいメソッドを作成した場合、変更した値が使用されない。（ONYX-35163）	新しいメソッドで値を変更します。
ターゲットリストが使用中で、そのターゲットリストがネットワークドライブ上にある場合、ユーザーがデータを取得できない。（ONYX-40311）	この問題を防ぐには、ターゲットリストをローカルドライブに保存してください。
X500 QTOF および ZenoTOF 7600 システム：ガイドモードでガイド付き MRM^{HR} を使用する場合に、適切でないプリカーサーイオンが使用されると、DP 最適化が完了しない。（ONYX-40658）	プリカーサーイオンが有効であることを確認します。
X500 QTOF および ZenoTOF 7600 システム：ユーザーが TOF MSMS または MRM^{HR} アルゴリズムのメソッドで手動取得を開始した場合、**Zeno しきい値（非 IDA）（cps）** チェックボックスが利用できない。（ONYX-40994）	該当なし
SCIEX 4500、5500、5500+、6500、6500+、7500、7500+ システム：ループした IDA 実験に第 2 レベルの基準を追加した場合、トランジションの滞留時間が変わる。（ONYX-42978）	第 2 レベルの基準を追加した後、トランジションを修正します。
Intabio ZT システムを持つ ZenoTOF 7600/7600+ システム：ガイド付き MRM^{HR} ワークフローがサポートされていない。（ONYX-45080）	該当なし

問題	注意事項
Central Administrator Console (CAC): **バッチ自動化ステータス** 列が 中央モニタリング ワークスペースに表示されない。（ONYX-49640）	該当なし

MS チューンワークスペースの問題

問題	注意事項
（ZenoTOF 7600 システム）MS チューン ワークスペースでキャリブレーションが完了してから約 5 分以内に質量分析装置の電源を切ると、キャリブレーション設定が失われ、以前に保存されたキャリブレーション設定が復元される。（MSCS-2627）	チューニング手順を再度実行してください。
SCIEX OS ソフトウェアが長期間アイドル状態になると、MS チューン ワークスペースのコントロールが断続的に使用できなくなる。（ONYX-30669）	デバイスワークスペース内のデバイスを非アクティブにしてからアクティブにします。

アナリティクスワークスペースの問題

問題	注意事項
別のコンピュータ上で実行されている Analyst ソフトウェアがネットワーク経由でそのファイルのデータを取得しているときに、ネットワーク上の `wiff` ファイルを処理すると、SCIEX OS ソフトウェアが応答しなくなる。（BLT-2873）	SCIEX OS ソフトウェアはこのワークフローをサポートしていません。
PDFactory と Positive Hit テンプレートを使用して、2,500 行を超える行を含む定量テーブルから保護された `pdf` レポートを作成すると、ソフトウェアが応答しなくなる。（MQ-1896）	レポートの作成には、ある程度時間がかかります。PDFactory の進行状況ウィンドウは常にバックグラウンドで表示され、`pdf` の作成が進行中であることを示します。PDFactory の進行状況ウィンドウを表示させるために、SCIEX OS を含むすべてのウィンドウを最小化できます。
IS の名前をメソッド エディタの成分テーブルに貼り付けることができない。（MQ-2193）	問題を回避するには、**IS の名前**を手動で選択するか、**IS** 列を個別に貼り付けます。
UV、DAD、ADC データ上で AutoPeak 積分アルゴリズムを使用した場合、処理前にモデルが構築するのに長い時間がかかる。（MQ-4421）	ピーク形状が良くない UV/DAD/ADC データに対しては、AutoPeak 積分アルゴリズムを使用しないでください。

問題	注意事項
MultiQuant ソフトウェアで作成したフラグメント情報付きの SWATH 取得データを含む処理メソッドが、SCIEX OS ソフトウェアにインポートできない。(MQ-6147)	フラグメント情報を手動で追加します。
Mass Reconstruction ワークフローでは、定量テーブルに報告された信号対雑音 (S/N) 値が、再構成されたピークに対して正しく計算されない。(MQ-7073)	S/N を計算するには、エクスプローラワークスペースで平均 *m/z* スペクトルを開き、手動で再構成を行い、ターゲットピークの S/N を計算します。 **注:** この回避策には、Bio Tool Kit ライセンスが必要です。 1. ピークレビュー ペインで平均スペクトルを選択します。 2. (**データ探索を開いてリアルタイム データを表示する**)をクリックします。 3. **Bio Tool Kit** > **タンパク質の再構築**をクリックし、分解能値を入力し、再構成パラメータを指定して、再構成を実行します。 4. S/N を手動で計算します。*ソフトウェアユーザーガイド*の「グラフ選択情報の表示」を参照してください。
統計 ペインに表示される**パーセント CV** が、**GETSTAT** 関数で計算されたパーセント CV とは異なる。(MQ-8211)	**GETSTAT** 関数は**実際の濃度**値を使用して複製を識別しますが、統計ペインはユーザー指定の**数値形式**が適用された後に**実際の濃度**値を使用します。たとえば、**数値形式**が `0.00` に設定されている場合、5.001 の濃度は統計パネルで 5.00 として扱われます。
ソフトウェアは、**外れ値の理由** 列または **外れ値の理由** 列に基づく計算列に基づくフラグ設定ルールをサポートしていない。(MQ-8295)	**外れ値の理由**列を使用するフラグ設定ルールを作成しないでください。
取得日付と時刻列が式で正しく処理されない。(MQ-8662)	式で**取得日付と時刻**列を使用しないでください。
結果 > **新規** コマンドで処理メソッドを作成した場合、処理メソッドが MQ4 または合計アルゴリズムを使用し、ワークフローページで参照サンプルが変更された場合、積分ページが更新されない。(MQ-10287)	該当なし

問題	注意事項
処理メソッド エディタで、ユーザーがセクション間または積分セクション内のコンポーネント間を移動すると、保存されたメソッドの**印刷**ボタンが非アクティブになる場合がある。(MQ-10356、MQ-10583)	この問題を回避するには、別のセクションに移動する前に、ワークフローセクションからメソッドを印刷します。問題が発生した場合は、メソッドを保存するか閉じてから、メソッドを再度開いて、メソッドを印刷します。
編集中で保存されていないメソッドを印刷する場合、印刷にはメソッドの最後に保存されたバージョンが含まれる。(MQ-10758)	アクティブなメソッドを印刷するには、まずメソッドを保存します。
数式またはカスタム列の名前に角括弧([ ])が含まれている場合、エラーメッセージが表示される。(MQ-10868、MQ-11216)	数式やカスタム列の名前には、角括弧を含めないでください。
SCIEX OS ソフトウェアのインストール後は、アナリティクスワークスペースまたは LibraryView ソフトウェアで参照スペクトルを表示できない。(MQ-11242)	LibraryView サービスを停止し、再度開始します。
地域の設定を変更すると、カスタム式の数値書式が新しい地域の書式に更新されない。(MQ-11349)	例:次のカスタム式は、ドイツの地域設定で作成されます:`IF([Retention Time] = 1,3`。次に、地域設定が英語に変更されます。カスタム式は更新されません
計算列の数値形式が、再処理後に元の値に戻る。(MQ-11804)	この問題は、次の一連のイベントの後に発生します: 1. 計算列の数値形式が変更されます。 2. 列の式が変更されます。 3. データは再処理されます。
サンプル名をスペースに変更するとエラーが発生する。(MQ-12757)	該当なし
複合カスタムルールの名前が計算列の名前と同じ場合、フラグ設定ルールの処理中に計算列の内容が上書きされる。(MQ-13160)	この問題は、フラグ設定ルール ページに追加されたカスタムルールと、計算列 ページに追加された計算列が同じ名前である場合に発生します。また、メソッドにインポートされたフラグ設定ルールと計算列が同じ名前である場合にも発生します。
フォーミュラファインダ結果 列で検証エラーが発生します。(MQ-12950)	該当なし
データを LIMS からカスタム列のある定量テーブルにインポートすることはできません。また、データをカスタム列のある定量テーブルから LIMS にエクスポートすることもできない。(ONYX-15730)	該当なし

問題	注意事項
ChemSpider データベースにはプロキシサーバーからアクセスできません。（PV-632）	該当なし

エクスプローラワークスペースの問題

問題	注意事項
次のエラー「 要求されたアクションを完了できませんでした。データが完全であり、すべてのフィールドに適切な値が含まれていることを確認してください 」が Formula Finder に表示される。（BLT-1423）	このエラーは、選択されたイオンの構造が Formula Finder で予測されたもので、フォーミュラファインダ設定ダイアログの元素化学式タブの正イオンのリストに含まれていない場合に発生します。たとえば、*m/z* 1004 のイオンの場合、Formula Finder は（M + NH4）+に一致します。このイオンが検索する陽イオンのリストに含まれていない場合、一致するものが見つからないとエラーが発生します。
ループ Scout triggered MRM (stMRM) アルゴリズム実験のデータがエクスプローラワークスペースで開かれている場合、トランジションの強度がゼロ（つまり、真のシグナルまたはトリガーされていない）の場合、依存するトランジションの XIC が空白になる。（ONYX-19875）	依存トランジションのデータはエクスプローラワークスペースに表示されませんが、取得されています。これは単なる表示エラーです。
極性は同じだが分解能設定が異なる実験が含まれるループ実験では、サンプル情報 ペインのキャリブレーション表に表示される情報が正しくない。（ONYX-21279）	サンプル情報ペインには、最初の実験の 2 番目の実験のキャリブレーションと分解能の表も示されています。 正しい情報が監査証跡に記録されます。

レポーターの問題

問題	注意事項
UV MS Qual Report テンプレートでは、**ピークレビュー UV** タグに対して次のメッセージが表示される。画像：`Peak Review UV` が空です。（BLT-3293）	画像はレポートに正しく表示されます。
レポートテンプレートから**各サンプルについて**タグを削除すると、元に戻すことができない。（RPT-21）	レポートをもう一度作成してください。

監査証跡の問題

問題	説明
ユーザーに対して **有効なユーザーまたはグループ** チェックボックスがオンでもオフでも、監査証跡レコードが作成されない。（ONYX-40577）	該当なし

ライブラリワークスペースの問題

問題	注意事項
非常に大きなスペクトルが LibraryView ソフトウェア データベースに追加されると、重複する化合物名が削除される場合がある。（BLT-3291）	5,000 ポイントを超えるスペクトルを追加しないでください。

Method Converter に関する問題

問題	説明
高質量モードのメソッドを低質量モードに変換すると、メソッドのサイクル時間が長くなる。（ONYX-18158）	ドゥエルタイムを短縮して補正します。
変換されたメソッドを使用して SCIEX OS ソフトウェアによって取得されたデータが ProteinPilot ソフトウェアで処理するために開かれる場合、データに表示される装置モデルの名前が、元のメソッドの装置モデルの名前になる。（ONYX-30799）	すべての装置が同じ処理パラメータを使用するため、結果は正しくなります。
トリガーなしで Scheduled MRM (sMRM) アルゴリズムを使用するメソッドを SCIEX OS ソフトウェアから Analyst ソフトウェアに変換した場合、トリガープロパティが追加される。（ONYX-35443）	メソッドをインポートした後、Analyst ソフトウェアのプロパティを変更します。
Analyst ソフトウェアの離散 CE を持つメソッドを SCIEX OS ソフトウェアにインポートした場合、離散 CE プロパティはインポートされない。（ONYX-39194）	メソッドをインポートした後、SCIEX OS ソフトウェアの離散 CE プロパティを設定します。

ライセンスサーバーの問題

問題	説明
この Flexera Licensing Server が他の製品に使用されている場合、SCIEX ベンダー デーモンは実行できません。（BLT-3318）	この Flexera Licensing Server では、同じサーバー上の異なるインスタンスで同じベンダー デーモンを同時に実行することはできません。この Flexera Licensing Server が SCIEX 以外の他の製品に使用されている場合は、SCIEX ベンダー デーモンと同時使用ライセンスを既存の Flexera Licensing Server に追加します。

お問い合わせ先

住所

シンガポール製
AB Sciex Pte.Ltd.
Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3
Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256

SCIEX 本社

AB Sciex LLC
500 Old Connecticut Path
Framingham, Massachusetts 01701
USA

お客様のトレーニング

- グローバル: sciex.com/contact-us

オンライン学習センター

- SCIEX Now Learning Hub

SCIEX サポート

SCIEX およびその代理店には、十分な訓練を受けた保守 / 技術専門のグローバルスタッフがおり、システムに関する質問や技術的な問題にお答えします。詳細については、SCIEX の Web サイト sciex.com をご覧いただくか、以下のリンクからお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX 製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurity を参照してください。

説明書

このバージョンのドキュメントは、以前のバージョンのドキュメントすべてに優先します。

このドキュメントを電子的に閲覧するには Adobe Acrobat Reader が必要です。最新バージョンをダウンロードするには、次にアクセスしてください https://get.adobe.com/reader。

お問い合わせ先

ソフトウェア製品の説明書については、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品の説明書については、システムまたはコンポーネントに付属の説明書を参照してください。

説明書の最新版は SCIEX の web サイト（sciex.com/customer-documents）で入手できます。

注: このドキュメントの無料の印刷版を請求するには、sciex.com/contact-us までお問い合わせください。